

福祉施設へ プロを出前

「セイエイ百貨店」開始

宮古

宮古地区生
活衛生同業組

合連絡協議会（堀田尚志会
長）は6日、社会福祉施設



すしやエビチリなどの料理を楽しんだ入所者たち

向けに飲食や理・美容、旅館ホテルなど12の生活衛生同業組合がサービスを有料で出前する「岩手セイエイ百貨店宮古地区」の活動を始めた。

宮古市崎嶇ヶ崎の介護老人保健施設ほほえみの里（江村栄章施設長、入所者

100人）で活動をスタート。堀田会長は「普段の自宅で生活していたときのように豊かなひとときを過ごし、プロの味を楽しんでほしい」とあいさつした。

「よし寿司」「大阪王将 宮古店」の調理師らが訪れ、にぎりすしやエビチリ、マザーポニー豆腐などを提供した。入所者は「おいしい」と出来たての料理を次々と口に運んだ。佐々木シズさん（89）は「すしは久しぶりに食べた。どれもおいしくいただきました」と笑顔を見せた。